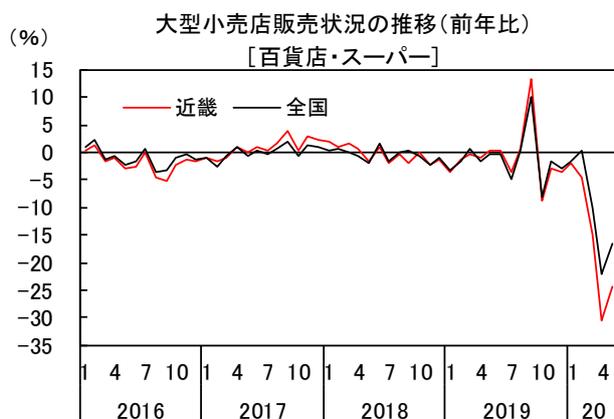
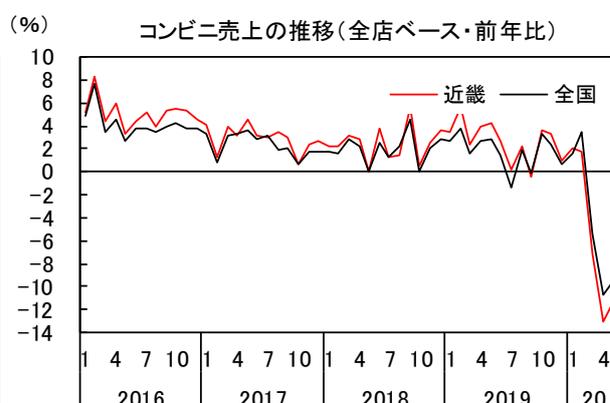


関西の景気トピックス【消費関連（20年05月）】

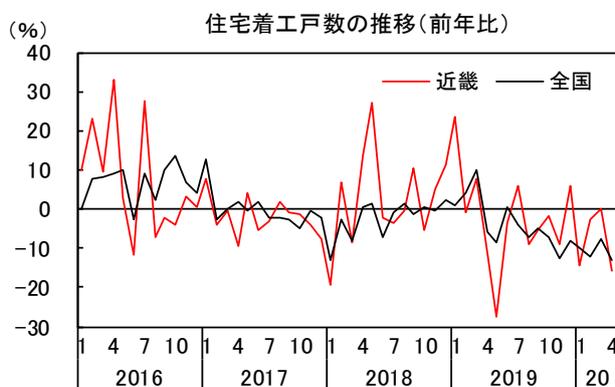
- 20年5月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス24.4%と8か月連続の減少となっている。新型コロナの影響に対応した、緊急事態宣言は関西では5月下旬に解除されたが、売上の回復は限定的となった（業態別には、百貨店が64.3%減、スーパーが2.7%増）。
- コンビニ売上（経済産業省）の5月は、全店ベースで前年比マイナス11.5%と、3か月連続で減少した。外出の自粛により、都市部を中心に往来が減少したことで、4月に続いて売上が大きく減少している。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）4月は、前年比マイナス15.7%と2か月ぶりの減少となった。今月は持家、貸家、分譲のすべてで2けた減少となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪は直近で前年を下回る傾向が続いている。新型コロナウイルスの影響に加え、所得環境も良くないことから、今後も個人消費は停滞が続くことが懸念される。



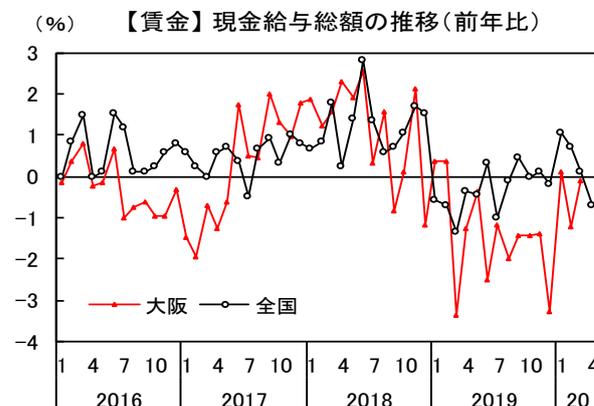
（出所）経済産業省「大型小売店販売状況」



（出所）経済産業省



（出所）国土交通省「建築着工統計」



（出所）厚生労働省「毎月勤労統計調査」